

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	畑中 香子議員	<p>1 市有地の減額貸付について</p> <p>2 ごみ問題について</p>	<p>(1) 太陽光発電用地として公募した際、選定委員会の選定方法に問題はなかったか。 応募した 4 社のうち林建設は地代を年額 270 万円と提示し、このことが総合点数をひきあげているが、他の 3 社の提示額はいくらだったのか。</p> <p>(2) 270 万円で契約した賃貸料を 204 万円と議会に上程し、102 万円に減額した経緯は。</p> <p>(3) 監査請求により林建設は「国の補助金は施設設置については受けていない。蓄電設備のみ受けている」との監査結果だった。 施設設置費について補助金を受けなかったことの説明はあったのかどうか。</p> <p>(4) 蓄電施設の補助金額は平成 27 年度までは 1 k w 当たり 10 万円だが、平成 28 年度からは 1 k w 当たり 30 万円となっている。監査結果によると、補助金申請は平成 28 年 8 月 31 日予約決定通知書ありとのことだがいくら補助金額だったのか。</p> <p>(5) 林建設の当初及び変更後の事業計画、自己資金計画、累積利益などについて、企画提案書、変更後の企画提案書に基づいて詳細な説明を求める。</p> <p>(6) 監査請求について監査委員会は林建設に直接聞き取りをしなかったのかどうか。</p> <p>(1) ごみ袋の値段が高過ぎるとの声が大きいが、値下げを検討するべきではないか。資源ごみについて、ラベルの取りはずしや洗浄など市民の努力で多額の売払い収入となっている。まず資源ごみの袋代金だけでも値下げをするべきではないか。</p> <p>(2) 生ごみを資源として、再利用するために食品残渣を回収し堆肥化する方策を検討するべきではないか。コンポストの普及数、普及率は。</p>	<p>市長 代表監査委員</p> <p>市長</p>	

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	畑中 香子議員	<p>3 市道湯之尾 - 築地線の湯之元橋から国道 268 号までの整備について</p> <p>4 鳥獣被害対策について</p>	<p>(1) 児童生徒の通学や共同浴場に通う高齢者にとって狭く、歩道がないため危険な状況である。 また平成 32 年国体カヌー競技の開催地として選手や関係者の往来で交通量が増大することが予想されるが歩道設置や道路の拡幅など整備を行うべきではないか。</p> <p>(2) 平成 15 年の町への移管まで県が行っていた緑の回廊事業など、工事が中断し放置されている部分について県と交渉の上完了させるべきではないか。国体参加者への伊佐市の印象を向上させるため整備を行うべきではないか。</p> <p>(1) 個体数を減らすためには、捕獲、処理、流通、消費の流れをつくることが大事である。鳥獣処理施設の運営について、冬場一定期間のみの稼働となっているが年間を通して稼働できるよう検討してほしい。</p> <p>(2) 給食でジビエ料理として提供し食育につなげる考えはないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長</p>	

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	柿木原榮一議員	<p>1 学力向上は、伊佐市の教育行政で大丈夫か。</p> <p>2 ふるさと納税の未来の展望は</p>	<p>(1) 伊佐の学校教育 No. 13 を平成 29 年 11 月に発行された。子は宝と教育長は所見を記載していたが、学力調査結果をみて教育委員会はどのように判断しているのか。課題は把握しているか（特に中学生は年々、全国・県との平均正答率に開きがでているが。）。</p> <p>(2) 伊佐の学校教育 No. 13 に※印で「なお、各種検査で示す学力は、児童生徒の学力の一部を示すものです。」と注釈をしてある。かつては、学力向上の数値目標を、学校・家庭に示していたが、児童生徒に自信をもたせるために、今年度以降、具体的な対策はできているのか。</p> <p>(1) 今年度のふるさと納税の状況について示せ（昨年度の同時期と比べてどうか。）。</p> <p>(2) 野田総務大臣の「ふるさと納税の未来を考える」の講演で、今後ふるさと納税を行う方の裾野を拡大し、地域の活性化に向けた好循環を生み出して頂きたい、また、ふるさと納税を行った方との関わりをこれまで以上に大切にすることで交流の輪が拡大するような取組を進めていただきたいとも言われている。制度の本質について議論する段階にきているが、伊佐市として、ふるさと納税された方に対し、返礼の品のほかどのような交流をされているのか。都市と地方の交流が重要でふるさとの魅力を発信するような政策を今後どのように考えているのか。</p> <p>(3) ふるさと納税に関し、各地方自治体の創意工夫にあふれる取組が全国各地で進んでいるが伊佐市は、どんな工夫をしているのか。</p>	<p>教育長</p> <p>市長</p>	

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	森田 幸一議員	<p>1 通学路の総点検について</p> <p>2 通学路の安全対策について</p>	<p>(1) 市内小・中学校の全通学路の点検と危険箇所の取組状況について</p> <p>(2) 平成 28 年度の実績では、危険箇所改善の要望が何件あり、何件が改善されたのか。</p> <p>(1) スクールゾーン（通学路）の通学歩道にカラー付けし、安全対策に取り組んでいる自治体もあるが、本市の取組状況は。</p> <p>(2) 市道菱刈重留線の旧農協北部支所前三叉路から田中小学校までのスクールゾーンの通学歩道にカラー付けはできないか。 この区間は、5 年位前に歩道を少し広げて、歩道と車道を整備され子どもたちの通学路には一定の安全性が確保されているが、この車道は若干狭く中央線を引けないために、歩道に割り込む場合がある。また、歩道の境目に縁石あるいはガードレール等がないので、子どもたちの登下校時に危険を伴っている。 この歩道部分にカラー舗装・色づけができればより以上に安全性が保たれると思うができないか。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p>	

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	緒方 重則議員	<p>1 レンタサイクルについて</p> <p>2 伊佐市営住宅条例の入居者資格について</p>	<p>(1) 市内路線バスを利用して大口停留所で降り、買い物や病院に行く市民のためにふれあいセンターを拠点にして自転車のレンタル提供は考えられないか。</p> <p>(2) 市内観光の視点から、親子連れや市外からの来訪者を対象に忠元神社や高熊山、十曾池などを探訪する交通手段としてレンタル自転車の活用法も考えられないか。</p> <p>住宅条例第 6 条第 1 項第 2 号の別表第 3 「入居者の収入基準」 3 に「現に同居し、又は同居しようとする親族に小学校就学の始期に達するまでの者がある場合」とある。</p> <p>(1) この基準の根拠となる考えは何か。</p> <p>(2) これにより小学校入学を迎えた子どものいる家族は住み慣れた校区の住宅から転居を強いられるケースがある。今年度始まったコミュニティ・スクールの話し合いの場においても改善できないかとの声が挙げられている。当局の考えを伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	岩元 努議員	<p>1 観光資源開発「霧降の滝」の周辺整備について</p> <p>2 曾木の滝公園、管理運営について</p>	<p>(1) 第1次 伊佐市総合振興計画 後期基本計画 施策 No. 8 観光・交流の振興策について 施策の目的に対し課題として、観光資源の掘り起こしや有効活用を図るとし、近隣自治体と連携して観光客の誘致に取り組む必要があると示されている。観光資源の掘り起こし、観光客の誘致の具体策を伺う。</p> <p>(2) 伊佐市大口田代にある「霧降の滝」も優位性の高い観光資源として、地域の期待も膨らんでいるが市として、周辺整備の設計案を示せないか。</p> <p>(1) DMOのグランドデザインで、曾木の滝周辺がどう変わっていくのか。</p> <p>(2) 公園内の車いす用スロープが整備されたが、勾配は適正な設計か。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	久保 教仁議員	1 目指せ 全国和牛能力共進会鹿児島大会	<p>(1) 第 12 回全国和牛能力共進会に向けて、推進事業を補正予算として出されている。5 年後を見据えて、優良繁殖雌牛の導入は出品区分から考えると、3 年後まで確立しなければならないと考えるが、この新規事業の基本的な考え方を伺う。</p> <p>(2) 平成 23 年度まで、低コスト牛舎建設補助金 900 円/㎡だったものを、平成 24 年度から事業費の 3 分の 1 補助、上限 50 万円の 5 棟分に拡充して頂いた。この事業は 6 年目を迎えるが、この間の実績について伺う。</p> <p>(3) 平成 27 年度当初予算で、子牛の生産拡大を推進するとして、イージーブリード（膣内留置型ホルモン製剤）の経費を一部負担する補助制度。当時 2,150 円の農家負担が 3 分の 1 軽減され、畜産農家に喜ばれている事業。当初 1000 件で 70 万円の予算組みだったが、この 3 年間の推移を伺う。</p> <p>(4) 伊佐市には、特定優良種雌牛の保留導入補助事業もある。5 年後の全国和牛能力共進会・鹿児島大会に向けて、条件は整っている。補助事業として 6 年目の牛舎施設整備事業補助金と 3 年目の子牛生産拡大事業・イージーブリードについても、継続を検討協議してもらいたい。</p>	市長	

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	鶴田 公紀議員	1 庁舎建設について	(1) 許認可（進達）状況 (2) 規模 (3) 場所	市長	
		2 市制 10 周年記念行事について	(1) 式典日及び場所 (2) 式典内容及び関連事業 (3) 記念誌発行	市長	

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	前田 和文議員	<p>1 青少年育成事業の現状と課題について</p> <p>2 曾木の滝の観光事業について</p>	<p>(1) 平田塾の今までの取組と成果について示されたい。</p> <p>(2) 今後のビジョンと課題・継続に向けた懸念材料について示されたい。</p> <p>(1) 曾木の滝開発DMOがコンサルティングを受けたランドデザインの詳細について示されたい（内容の説明用資料配布を求める。）。</p> <p>(2) 今後の具体的計画と実現可能な時期を示されたい。市民の多くは早急な具現化を待ち望んでいると考える、見解を問う。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長</p>	

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	谷山 大介議員	<p>1 子ども医療費無料化について</p> <p>2 幼稚園、小中学校の冷暖房完備について</p> <p>3 職員の労働環境について</p>	<p>伊佐市に住む全ての子育て世代の家計負担の軽減と、全ての子どもの健やかな成長のために安心できる制度について見解を伺う。</p> <p>(1) 子ども医療費の本質について</p> <p>(2) 乳幼児医療制度の拡充について</p> <p>伊佐市の夏は非常に暑く、冬は非常に寒い。今年は最高気温 37 度、昨年最低氷点下 15 度で環境衛生基準の基準を大きく超えている。学校教育の円滑な実施とその成果の確保のため全ての公立幼稚園、小中学校に冷暖房を設置しないのか伺う。</p> <p>(1) 学校環境衛生基準について</p> <p>(2) 冷暖房の設置について</p> <p>市役所の労働環境は伊佐市で働く人の模範となるべきである。職員の労働環境について伺う。</p> <p>(1) 職員の労働環境について</p> <p>ア 職員の勤務日数や時間について</p> <p>イ 代休や振替休日の取得率について</p> <p>ウ 時間外勤務確認簿と時間外入退庁確認簿について</p> <p>エ 年休の消化率について</p> <p>(2) 職員の適正人数について</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>	

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	山下 和義議員	1 入学準備金の支給について 2 コミュニティ協議会運営について	<p>本年3月の第1回伊佐市議会で他市の状況等をお知らせしながらこの入学準備金について質問した。教育長の答弁で要保護児童生徒については生活保護費で前年度の3月に支給している。しかし、準要保護児童生徒の入学準備金は第1回目を7月に支給している。手続きの問題とそれに付随するいくつかの問題だと思うので、検討し、出来るだけ家庭等の実質的な支援になるように考えていきたいと答弁している。</p> <p>そこで次のことについて、市長・教育長の見解を伺いたい。</p> <p>(1) 検討するとのことであったが、30年度の入学準備金を29年度(30年3月)の3月中に支給できないか。</p> <p>(2) 先日の新聞報道で就学援助費等は交付税の対象である。しかしながら支給金額は県内の市町村の財政状況等で異なっているとのことであった。伊佐市の支給額は県内の他の市町村と比べてどういう位置にあるのか。平均額との比較はどうなっているか。</p> <p>平成23年度に、市内全校区にコミュニティ協議会をつくり、各校区の自治会が連携し共生協働の地域づくりに取り組んできている。ただ、ほとんどの校区が小学校を中心としたコミュニティとなっており、伊佐市公共施設等総合管理計画しだいではコミュニティの中に小学校がない地域が出てくると予想する。</p> <p>そこで、次のことについて、市長の見解を伺いたい。</p> <p>(1) 各校区のコミュニティを中心として地域づくりをしていくためには中心となるコミュニティの役員の充実が求められると思う。役員手当等も充実出来ないか。</p> <p>(2) 各校区の小さなコンパクトシティ的な地域づくり構想は考えられないか。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長</p>	

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	山下 和義議員	3 伊佐市財政の今後の課題について	<p>先日の新聞報道で県内の各市町村の財政調整基金は増えているという報道があり、これからの市の財政状況は改善していくような雰囲気を感じていると思う。また、国の景気は報道によると東京を中心にいざなぎ景気を超えているということである。しかしながら、日本の国債の総額は1,000兆円を超えており将来のことは予測がつかない状態である。国は2020年の東京オリンピックパラリンピック後の10年間でどう凌ぐのかという国会議員もいる。伊佐市も鹿児島国体終了後の10年間は本当に厳しい時が来ると思う。</p> <p>そこでこれからの伊佐市財政の課題を市としてどうとらえているのか伺いたい。</p>	市長	

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	福本千枝子議員	1 市制 10 周年に向け 9 年間のまちづくりの成果と課題について	<p>来年の 11 月で「伊佐市誕生 10 周年」を迎える。合併した平成 20 年頃は飼料や燃料等の高騰により、畜産農家は厳しい状況が続いた。全国の医師不足問題により、病院や診療科の縮小等により、救急搬送先も受け入れられず、亡くなられた方が多く社会問題となった。また、株価の下落や急激な円高により、輸出関連企業や家電企業の閉鎖により、多くの失業者が出て、東京の日比谷公園では「派遣村」という言葉も生まれた。そのような厳しい状況の中で「伊佐市」が誕生し、隈元市長が初代の市長として、舵取りを任せられた。</p> <p>そこでこの 9 年間のまちづくりの成果と課題について伺う。</p> <p>(1) 農林畜産業について 市長は以前から米、牛、野菜の複合がいいと言われたが、農家の所得は向上してきているのか。</p> <p>(2) 商工業について 最近空き店舗の改修が見られるようになったが、商店街の活性化はどうか。また、市内の建築業者による「木造住宅整備促進事業」は成果も出て、今期定例会で補正を組まれたが、延長の考えはないか。</p> <p>(3) 観光について 観光客が年々減少している。どうしたら観光客を呼び込めるか。滞在型の具体策は。</p> <p>(4) 子育て支援について 今、国は保育料の無償化の検討を始めるようだが、本市では子ども医療費の助成については県下でも遅れている。どう捉えているか。</p> <p>(5) 高齢者対策について 病院への通院や買物の交通対策は満足できているのか。福祉タクシー券の利用の再検討はされているのか。</p>	市長	

平成 29 年第 4 回定例会一般質問

平成 29 年 12 月 5 日・7 日・8 日

(14枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	福本千枝子議員	1 市制 10 周年に向け 9 年間のまちづくりの成果と課題について	<p>(6) 健康づくりについて 医療費の削減に努めなければならない。特定健診受診率のアップや運動習慣など早めの取組が必要である。どのような健康づくりを考えているか。</p> <p>(7) 雇用対策について 多くの若者が残ってくれるとまちが元気になる。今年 3 月の卒業した高校生の実績と来年 3 月に卒業する高校生の地元企業の採用はどれぐらいか。</p> <p>(8) 地域おこし協力隊の応募状況について 隊員の参加者が平成 29 年度は 5 千人規模となり、希望する自治体が増え、人材確保に苦慮するケースも目立ち始めたとある。本市に興味を持つ隊員に期待したいが。</p> <p>(9) 財政調整基金について 全国の自治体の基金が 21 兆円を超えていることから財務省は問題視している。基金を積み立てる目的と目標とする基金額は。</p>	市長	